



写真：満月にかかる硫黄山の噴気(撮影：平成30年10月25日)

「硫黄山と月」

硫黄山 霧島連山で最も新しい火山

火山と光の共演

ス スキの穂が銀色に輝き、私たちの鳴き声もにぎやかになる秋。日が短くなり、天体観測をするには最適なシーズンを迎えます。

標高1200メートルのえびの高原は平地より空に近く、周囲に街灯などの光が少ないため、天体観測に適しています。かなり冷え込むことがあるので十分な防寒対策が必要ですが、美しい満天の星空を前にあつという間に時間が経ってしまいます。

えびの高原では、良く晴れた満月の夜、特別なショーを見ることが出来ます。硫黄山の噴気と満月、火山と光の共演です。風の穏やかな日には噴気は真上に上がり、より濃く見えます。噴気に月が重なると、月光は真っ白な噴気で広範囲に反射され、えびの高原は幻想的な光に包まれます。

月光を浴び、踊るように見える硫黄山の噴気の様子はまさに「活きている火山」。改めて火山の恵みや脅威の中で活動・生活していることを実感できます。

(文)えびのエコミュージアムセンター

